



# 「古いバケツ (B 友情, 信頼)」 (1 時間扱い)

授業者 上田知沙都

## 1 教材の特徴

学習内容の  
系統性  
道徳科  
学習指導要領解説  
より部分引用

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校
友達と仲よくし、助け合うこと。	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

図1 友情, 信頼の目標(学習指導要領より)

図1は、特別の教科道徳のB(9)友情, 信頼の目標を示したものです。

友達は、家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係はともに学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合っ構成されるものです。また、同じ世代が同じ者同士として、似たような体験や共通の興味や関心を有することから、互いの考え方などを交え、豊かに生きる上での大切な存在として、互いの成長とともにその影響力を拡大させていきます。

高学年になると、相手の気持ちだけでなく、相手の立場をも考えることができるようになります。つまり、どうすることが相手のためになるのかが考えられる学年に近付くということです。

そこで、高学年では、「本当に相手のためになることは何か」という視点で友情を考え、単なる仲良しではなく、磨き合い、高め合える関係を築いていくことの大切さを考え合うことが必要です。異性についても、信頼のもと、互いを理解し合い、よさを認め、高め合いながら友情を深めていこうとする態度を育てていくことが大切になります(図2)。

※日本文教出版株式会社.2020.『『深い学び』のための内容項目ハンドブック』.島恒生

この時期になると、性差がはっきりしてきます。異性に対する関心も高まり、照れや恥ずかしさから素直な言動や行動がとれず、ささいなことで男女が反発し合うことがよくあります。特に、清掃活動や共同制作などグループや班活動の場面で、男女が互いに認め合い協力し合ったときには、すばらしい力を発揮するにも関わらず、意地を張ったり、自分本位に接したりしてしまい、男女間でいさかいを起こしやすいと考えられます。

学習を通して、男女が認め合い、安定した関係を築く行為を支えたよさを考えさせます。異性に対しても、信頼をもとにして、正しい理解と友情を育て、互いのよさを認め、学び合いながらよりよい人間関係を築こうとする態度を養いたいと考えます。

本教材は、昇降口の掃除当番になった「わたし」たちのグループが、新しいバケツの使用をめぐって男女間でいさかいを起こす場面を取り上げています。

男女間の口争いは、児童の日常生活の中でよく起こり得る出来事であり、自分たちの学級の様子と重ね合わせ、実体験をもとに考えられる教材です。

資料をもとに、男女の協力について考えることで、日常生活でも互いを認め合っ生活しようと考えられるようにしていきたいと考えています。

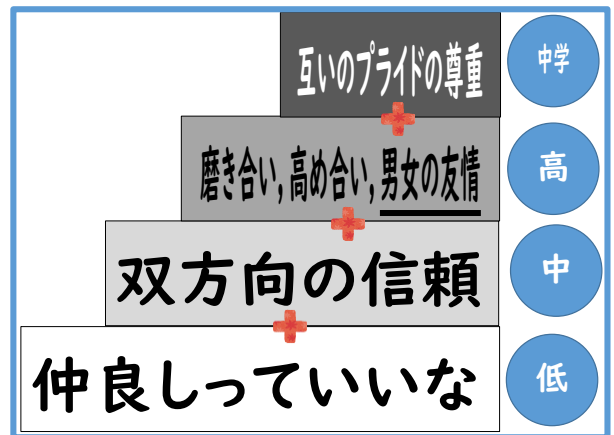


図2 「友情, 信頼」の高まり

### 5年生段階での 友情, 信頼

### 本時の内容 について

## 2 目指す子供の姿

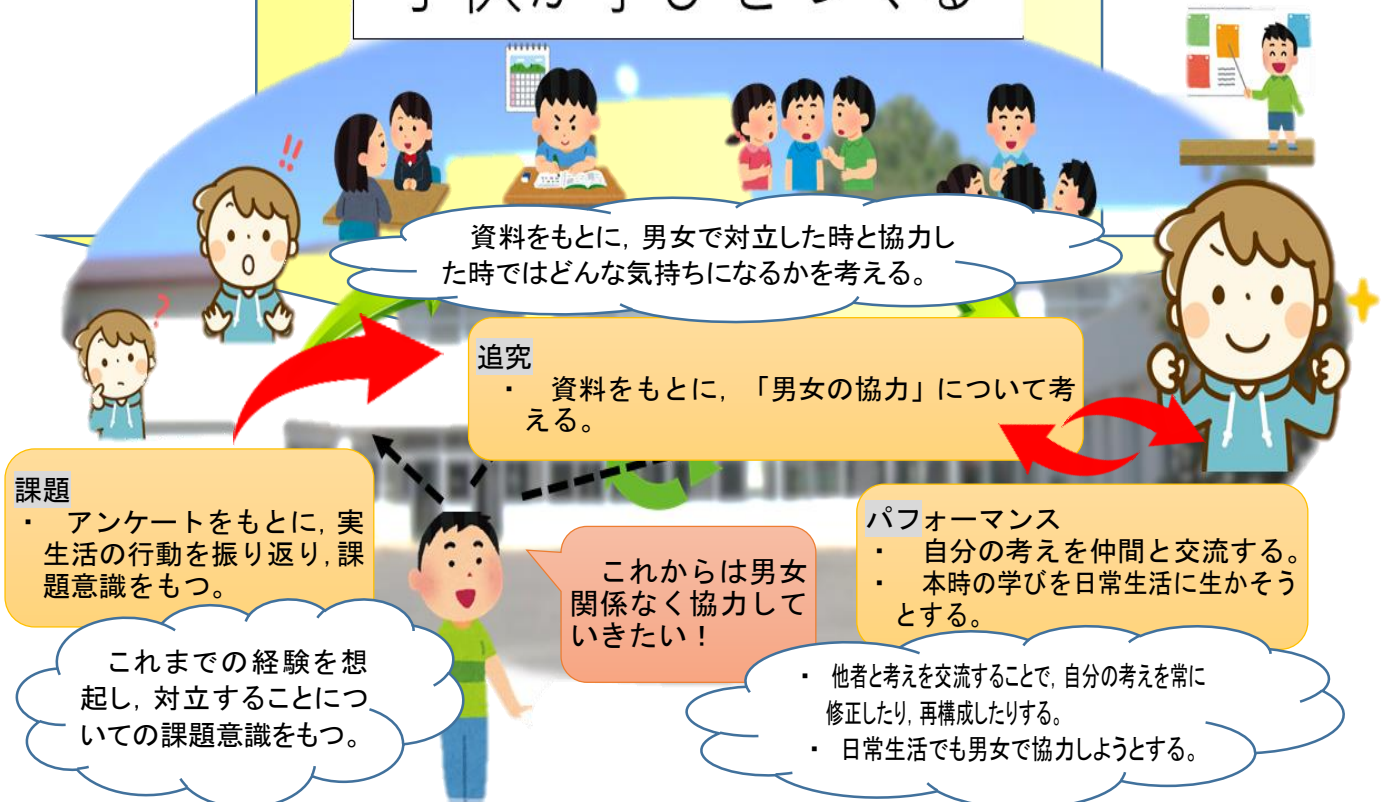
	課題設定	課題追究	パフォーマンス
特別の教科道徳が 目指す 子供のゴールの姿	自分の日常生活と学ぶ道徳的価値との関連を考えたり、他者との道徳的価値観の違いを意識したりする活動を通して、教師とともに自分たちの実態に合った課題設定をすることができる。	自力追究や他者との協働を通して、自己を見つめ、多面的・多角的に考えることで、道徳的価値の理解を深めることができる。それをもとに自己の生き方を見つめ直すことができる。	問題や道徳的価値について自分の考えを自力追究したり、他者と協働したりしながら、道徳ノートに記述したり、ツールや掲示したものをもとに議論したりすることができる。
特別の教科道徳が 目指す R3、7月時点の 5年生の 学びをつくる姿	自分の日常生活と学ぶ道徳的価値との関連を考えたり、他者との道徳的価値観の違いを意識したりする活動を通して、教師とともに自分たちの実態に合った課題設定をすることができる。	自力追究や他者との協働を通して、自己を見つめ、多面的・多角的に考えることで、道徳的価値の理解を深めることができる。それをもとに自己の生き方を見つめ直すことができる。	問題や道徳的価値について自分の考えを自力追究したり、他者と協働したりしながら、道徳ノートに記述したり、ツールや掲示したものをもとに議論したりすることができる。

### 本時の 目的

男女で協力することのよさや大切さに気付き、支え合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする。

### 本單元における「一人一人の子供が他者とともに自己調整する学び」

## 子供が学びをつくる



価値理解	人間理解	他者理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女で協力して掃除をすると、気持ちが良くなるんだ。</li> <li>「男子だから」「女子だから」という考え方をしない方が、お互いに良い関係を作れるんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲良くした方が良いと分かっても男女で対立してしまうことがあるな。</li> <li>お互いに歩み寄る必要があるな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な解決の方法がありそうだ。</li> <li>より良い解決策を選んで、男女が尊重し合って生活していくことが大切なんだ。</li> </ul>

## 本時の目標

男女で協力することのよさや大切さに気付き、支え合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする態度を養う。

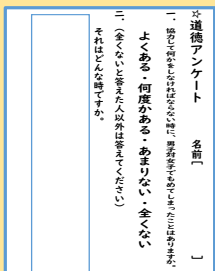
### 本時の学習内容を身に付けた姿

価値理解	人間理解	他者理解
異性間であっても互いのよさを認め、学び合い、支え合いながらよい関係を築くよさを認識する。	異性に対しても信頼をもとにして、理解し合い友情を育て、互いのよさを認め合っていくことの大切さに気付く。	男子と女子がお互い尊重し合うことについて考える。

## 3 本時の目標（学習内容を身に付けた姿）と教師の支援

### 教師の支援（課題解決の手続きに向けて）

自己を見つめる

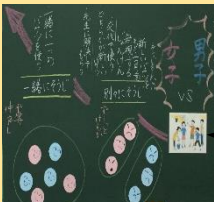


☆道徳アンケート 各組  
「一」 日常生活の中で男女が協力し合っている場面を思い出して、その場面を言葉で表現しよう。  
「二」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「三」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「四」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「五」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「六」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「七」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「八」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「九」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。  
「十」 互いのよさを認め、支え合いながらよい関係を築くよさを認識しよう。

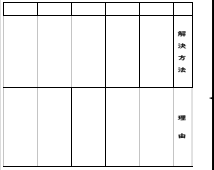
**日常生活での男女の対立の経験について捉えるアンケート**

- 男女が協力しなければならない時に男子と女子がもめた経験を考える。
- どんな場面でその様な状況になるか想起する。


自分の考えを修正・再構築




「一」 情報処理ステップ学習を授業の中で導入することにより、よりよい関係を築くために大切なことを考えられるようにする。



「二」 考えた解決方法の中から、一番良い方法を選び、書き入れられるようにする。また、全体交流の後に再度考えて赤丸を付けられるようにする。



「三」 考えた解決策が、結果的に男子と女子が別々に掃除をするか、一緒に掃除をするかを色で捉えられるようにする。  
「四」 その解決策を取ると結果的にどのような気持ちになるか、表情を書き入れることで捉えられるようにする。



「五」 他者と考えを交流する場を設定することにより、考えを修正したり、再構成したりできるようにする。

**情報処理ステップ学習を導入した授業展開**

- 情報処理ステップ学習を授業の中で導入することにより、よりよい関係を築くために大切なことを考えられるようにする。

**自分の考えの変化を捉えられるワークシート**

- 考えた解決方法の中から、一番良い方法を選び、書き入れられるようにする。また、全体交流の後に再度考えて赤丸を付けられるようにする。

**男子と女子の関係を捉える掲示物**

- 考えた解決策が、結果的に男子と女子が別々に掃除をするか、一緒に掃除をするかを色で捉えられるようにする。
- その解決策を取ると結果的にどのような気持ちになるか、表情を書き入れることで捉えられるようにする。

**他者と考えを交流する場の設定**

- 他者と考えを交流する場を設定することにより、考えを修正したり、再構成したりできるようにする。

これからの自分について考える

日常生活へ…

#### 4 本時における自己調整のイメージ

上越教育大学学校教育総合研究センターの脇川知子氏の、「自己調整能力を高める指導の工夫—情報処理ステップ学習を導入した道徳授業の実践から—」の実践研究をもとに授業を考えています。

【対人交渉方略を生むための情報処理ステップ】	
①問題の定義	社会的問題の性質を適切に定義する能力
②方法の産出	問題を解決するにはどのような方略があるのかを考える能力
③方法の選択と実行	複数の方略の中でその場面に一番ふさわしい方略を選択し、実行する力
④結果の評価	そうした方略によって生じた結果を評価する力

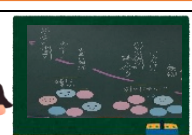
本研究では、情報処理ステップに基づいて質問をすることにより、場面のとらえ方や解決しようとする心のはたらきが明らかになると考えられています。

本時では、それを使用する資料に当てはめて授業を展開していきます。他者の考えを聞いたり、その行動を取った結果の心情を考えたりしながら、よりよい関係を築くために大切なことに気付けるようにしています。

※ 上越教育大学学校教育総合研究センター.2007.「教育実践研究第17集 2007『自己調整能力を高める指導の工夫—情報処理ステップ学習を導入した道徳授業の実践から—』」.脇川知子

### 日常生活や授業中に男女で対立することがある



【対人交渉方略を生むための情報処理ステップ】	【本時における情報処理ステップ】	
①問題の定義	新しいバケツの使用をめぐる男女間でいさかいが起きていることを捉える。	 <p>男子と女子でもめているんだなあ。</p> 
②方法の産出 (個)	問題の解決策をいくつか考える。	<p>無視して別々に掃除したら…</p>  <p>仲直りして一緒に掃除したら…</p>
③方法の選択 (個①) ※ 授業内では「実行」はしない	考えた解決策から一番良いと考えるものを選ぶ。	 <p>相手のことを無視して、女子は女子、男子は男子で方が、嫌な気持ちにならないし、掃除も進むと思う。</p>
②方法の産出 (全)	全体で、それぞれが一番良いと考えた解決策を話し合う。	<p>自分が考えた解決策以外にも色々あるなあ。どれが一番良いかな。</p>  
④結果の評価 (全)	考えた解決策を実行した結果はどうなるかを考える。	<p>一緒に掃除をしたら </p>  <p>別々に掃除をしたら </p>
③方法の選択 (個②) ※ 授業内では「実行」はしない	たくさん出た解決策から、一番良いと考えるものを選ぶ。	 <p>あれ…。無視していたらお互い嫌な気持ちになるんだ。譲り合って、一緒に掃除をした方が良いんだ！</p>
資料後半を読み、紀幸さんの行動について話し合う。		
<p>紀幸さんも、男女一緒に掃除をする解決策を選んだんだ！みんな明るい表情になっている！</p> 		



男子と女子で協力するとは大切なことだ！！

5 本時の板書とワークシート

- 日常生活へ
- イベントの時にもめちやったことがあるよ。
- わかるわかる！
- 男子対女子になっているね。
- 男子も女子も悪いよね。
- 先生に言えば解決すると思つたよ。
- どうすると、お互い良い気持ちで解決できるんだろう。
- 一緒に掃除をした方が、次の日もいい気持ちになりそう。
- 男子だから…女子だから…と考える方がいいな。



②今日の授業で学んだことは…

男女で協力すると、お互い良い気持ちになると思つた。  
何かをする時、男子だから、女子だからという考え方はしない方がいいと思つた。

①

解決方法	理由
〇 無視する。	相手にするとイライラするから。一々悪口を言わずに掃除をした方がいい。
〇 先生に言う。	一番平等に解決できそうだから。
〇 曜日を決めて新しいバケツを使う。	曜日ごとに男女を分けても、もうもめないから。
〇 仲直りして一緒にバケツを使う。	一緒に掃除をした方が、お互い良い気持ちになるし、仲が深まるから。

「古いパケツ」

名前「」

☆道徳アンケート 名前「」

一、協力して何かをしなければならぬ時に、男子対女子でもめてしまったことはありませんか。




よくある・何度かある・あまりない・全くない

二、(全くないと答えた人以外は答えてください)

それはどんな時ですか。

・係  
・掃除  
・授業のグループ話し合い

## 6 本時案

本時の目標	
男女で協力することのよさや大切さに気付き、支え合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする態度を養う。	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆, 課題, 追究, パフ) と評価 (◇) ・評価方法 []
<p>○ 男女の協力についてのアンケート結果を交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>掃除で男子が働かないので、責めたら喧嘩になった。すごく腹が立った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>係で女子が命令口調なので男子対女子でもめた。もう一緒に何もしたくないと思った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>授業のグループで男女の意見が合わなかった。解決しなかったけど、意地になってしまい、どうして良いか分からなかった。</p> </div> </div>	<p><b>課題</b> 事前アンケートで、男女で協力しなければならぬ時にもめてしまった時の経験とその時の気持ちを想起する。</p>
<p>○ 資料前半(P64~P66LI)を読み、この資料の問題点を捉える。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p><b>課題</b> 男子対女子でもめていることを、板書で示す。 ☆ バケツはきっかけで、男女の対立が問題であるということを確認する。</p>
<p>○ この後「わたし」はどんな行動を取るか考え、いくつかワークシートに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>男子を無視する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>じゃんけんどちらのバケツを使うか決める。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>先生に相談する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>仲直りをして掃除する。</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;"> <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">男女別々に掃除をする。</span> <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px; margin-left: 20px;">男女で協力して掃除をする。</span> </p>	<p><b>追究/パフ</b> この後「わたし」が取る行動をいくつか考え、ワークシートに記入するよう促す。(その行動の良し悪しはまだ考えない)</p> <p><b>追究/パフ</b> 選んだ行動の中から最善だと思うものを1つ選び、理由をワークシートに記入する。また、書き終わったら教室の中を歩き回って交流するよう促す。</p>
<p>○ 別々に掃除をした場合と一緒に掃除をした場合、今後男子と女子がどのような関係になるのかを考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>別々に掃除をすると、次の日も嫌な気持ちになるし、掃除以外でもめそうだね。 </p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>協力して掃除をすれば次の日も良い気持ちになりそうだね。 </p> </div> </div>	<p><b>追究/パフ</b> 考えた行動について、理由とともに交流する。 ☆ それぞれの解決策を選んだ結果を掲示物に書き入れて表現する。</p>
<p>○ 改めて、どの方法が一番良いのかを考え、ワークシートに赤丸を付ける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>先生に言うのが一番思ったけど、自分たちで解決した方が良かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>別々に掃除をした方が良かったけど、協力した方が今後のためにも良かった。</p> </div> </div>	<p><b>追究/パフ</b> 友達の考えや行動の結果を聞き、より良い解決策を考え直す。 ☆ 挿絵の表情に注目するよう促す。 ☆ 男女が互いを思いやることで信頼関係が生まれ、協力し合えることを捉えられるようにする。</p>
<p>○ 資料後半を読む。</p> <p>○ 紀幸さんはどんな気持ちでバケツに水を汲んできたのかを話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>さっきは悪かったな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>掃除しなきゃ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>仲直りしたい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>協力した方が気持ちが良いな。</p> </div> </div>	
<p>○ 今回の授業で学んだことをまとめる。</p>	<p><b>追究/パフ</b> アンケートやワークシートの記述、板書を手掛かりに、自分の考えがどう変化したかを捉えるよう促す。</p>
<p><b>[自己調整]</b> 資料の出来事について考えたり話し合ったりを通して男女で協力することのよさや大切さに気付き、これからの生活で支え合いながらよりよい人間関係を築いていこうとする。(発言・シート)</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>性別で判断しないことが大切だと分かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>男女の協力について、より良い行動を考えることができた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>男女で認め合い、協力することが大切だと分かった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>これからは男女で協力したい。</p> </div>	<p>◇ 男女で協力することのよさや大切さについて考えることができる。[ワークシート・発言]</p>

